CA ARCserve® Backup for Windows

リリース サマリ

r12.5

本書及び関連するソフトウェア ヘルプ プログラム（以下「本書」と総称）は、ユーザへの情報提供のみを目的とし、CA はその内容を予告なく変更、撤回することがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。本書は、CA または CA Inc. が権利を有する秘密情報でかつ財産的価値のある情報で、アメリカ合衆国及び日本国の著作権法並びに国際条約により保護されています。

上記にかかわらず、ライセンスを受けたユーザは、社内で使用する場合に限り本書の合理的な範囲内の部数のコピーを作成でき、またバックアップおよび災害復旧目的に限り合理的な範囲内で関連するソフトウェアのコピーを一部作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を各コピーに添付することを条件とします。 ユーザの認可を受け、プロダクトのライセンス条項を遵守する、従業員、法律顧問、および代理人のみがかかるコピーを利用することを許可されます。

本書のコピーを印刷し、関連するソフトウェアのコピーを作成する上記の権利は、プロダクトに適用されるライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。 いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは CA に本書の全部または一部を複製したコピーを CA に返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

該当するライセンス契約書に記載されている場合を除き、準拠法により認められる限り、CA は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。 また、本書の使用が直接または間接に起因し、逸失利益、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等いかなる損害が発生しても、CA はユーザまたは第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害について明示に通告されていた場合も同様とします。

本書及び本書に記載されたプロダクトは、該当するエンドユーザ ライセンス契約書に従い使用されるものです。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212, 52.227-14 及び 52.227-19(c)(1) 及び (2)、及び、DFARS Section252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

Copyright © 2009 CA. All rights reserved.

CA 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA の製品は以下のとおりです。

- BrightStor® ARCserve® Backup for Laptops and Desktops
- BrightStor® CA-Dynam®/TLMS Tape Management
- BrightStor® CA-Vtape™ Virtual Tape System
- BrightStor® Enterprise Backup
- BrightStor® High Availability
- BrightStor® Storage Resource Manager
- CA Antivirus
- CA ARCserve® Backup Agent for Advantage™ Ingres®
- CA ARCserve® Backup Agent for Novell Open Enterprise Server for Linux
- CA ARCserve® Backup Agent for Open Files on NetWare
- CA ARCserve® Backup Agent for Open Files on Windows
- CA ARCserve® Backup Client Agent for FreeBSD
- CA ARCserve® Backup Client Agent for Linux
- CA ARCserve® Backup Client Agent for Mainframe Linux
- CA ARCserve® Backup Client Agent for NetWare
- CA ARCserve® Backup Client Agent for UNIX
- CA ARCserve® Backup Client Agent for Windows
- CA ARCserve® Backup Enterprise Option for AS/400
- CA ARCserve® Backup Enterprise Option for Open VMS
- CA ARCserve® Backup for Microsoft Windows Essential Business Server
- CA ARCserve® Backup for Windows
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for IBM Informix
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for Lotus Domino
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for Microsoft Exchange
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for Microsoft SharePoint
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for Microsoft SQL Server
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for Oracle
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for Sybase
- CA ARCserve® Backup for Windows Agent for Virtual Machines

- CA ARCserve® Backup for Windows Disaster Recovery Option
- CA ARCserve® Backup for Windows Disk to Disk to Tape Option
- CA ARCserve® Backup for Windows Enterprise Module
- CA ARCserve® Backup for Windows Enterprise Option for IBM 3494
- CA ARCserve® Backup for Windows Enterprise Option for SAP R/3 for Oracle
- CA ARCserve® Backup for Windows Enterprise Option for StorageTek ACSLS
- CA ARCserve® Backup for Windows Image Option
- CA ARCserve® Backup for Windows Microsoft Volume Shadow Copy Service
- CA ARCserve® Backup for Windows NDMP NAS Option
- CA ARCserve® Backup for Windows Serverless Backup Option
- CA ARCserve® Backup for Windows Storage Area Network (SAN) Option
- CA ARCserve® Backup for Windows Tape Library Option
- CA Dynam®/B Backup for z/VM
- CA VM:Tape for z/VM
- CA XOsoft™ Assured Recovery™
- CA XOsoft™
- CA 1® Tape Management
- Common Services™
- eTrust® Firewall
- Unicenter® Network and Systems Management
- Unicenter® Software Delivery
- Unicenter® VM:Operator®

CA への連絡先

テクニカル サポートへのお問い合わせ

本製品を便利にお使いいただくために、CA では Home Office、Small Business、および Enterprise CA の各製品で必要な情報にアクセスするためのサイト（http://www.ca.com/jp/support/）を提供しています。

目次

第 1 章: 新機能および拡張機能 9

VMware および Hyper-V システムでの仮想マシン保護の拡張 10
CA ARCserve Backup Dashboard 10
データ デデュプリケーション 11
パスワード管理 11
ユーザ プロファイル 12
CA ARCserve Backup Agent Deployment パッケージ 12
TapeAlert 3.0 のサポート 13
マイグレーション ジョブ ステータス 13
メディア検証 13
Oracle RMAN および 64 ビット プラットフォームのサポート 14
Windows Server 2008 サーバ コアへのメンバ サーバのインストールのサポート 14

第 2 章: 利便性の向上 15

セットアップの機能拡張 15
レポートの改良 16
Media Maximization 16
ステータス タイプ[ターゲットの待機中] 16
拡張されたライセンス管理 17
セッション番号の増加 17
NAS セッションのテープ コピーのサポート 17
64 システムでの NDMP NAS Option のサポート 17
Windows-on-Windows での SAP エージェントのサポート 17
サポートされない機能 18

索引 19

第 1 章: 新機能および拡張機能

このリリース サマリでは、CA ARCserve Backup for Windows r12.5 の新機能、拡張機能、および利便性の向上について説明します。 CA ARCserve Backup for Windows r12 および CA ARCserve Backup for Windows r12 SP1 に関する類似情報については、以下のディレクトリにある対応するリリース サマリを参照してください。

デフォルトのインストール パス

```
C:\Program Files\CA\ARCserve Backup\Doc
```

ファイル名

```
AB_REL_SUM_r12SP1_W_JPN.PDF
```

```
AB_REL_SUM_r12_W_JPN.PDF
```

注: リリース サマリは、CA ARCserve Backup インストール メディアの ¥Doc ディレクトリからも入手できます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

VMware および Hyper-V システムでの仮想マシン保護の拡張 (10 ページ)
CA ARCserve Backup Dashboard (10 ページ)
データ デデュプリケーション (11 ページ)
パスワード管理 (11 ページ)
ユーザ プロファイル (12 ページ)
CA ARCserve Backup Agent Deployment パッケージ (12 ページ)
TapeAlert 3.0 のサポート (13 ページ)
マイグレーション ジョブ ステータス (13 ページ)
メディア検証 (13 ページ)
Oracle RMAN および 64 ビット プラットフォームのサポート (14 ページ)
Windows Server 2008 サーバ コアへのメンバ サーバのインストールのサポート (14 ページ)

VMware および Hyper-V システムでの仮想マシン保護の拡張

The CA ARCserve Backup Agent for Virtual Machines によって、以下のシステムを実行している仮想マシン（VM）を保護することができます。

- VMware ESX Server
- Microsoft Windows Server 2008 Hyper-V

CA ARCserve Backup Agent for Virtual Machines の本リリースでは、混在モード バックアップ機能がサポートされています。 混在モード バックアップでは、フル VM （raw）モードでの週単位のフル バックアップとファイル モードでの日単位の増分および差分バックアップで構成される GFS およびローテーション バックアップ ジョブを単一のバックアップ ジョブとして実行できます。

さらに、混在モードでは、raw （フル）VM の効率性を使用してデータをバックアップし、ファイルレベルの単位でデータをリストアすることができます。

詳細については、「Agent for Virtual Machines ユーザ ガイド」を参照してください。

CA ARCserve Backup Dashboard

CA ARCserve Backup Dashboard はバックアップ インフラストラクチャのアクティビティのスナップショットを提供するインターフェースです。 CA ARCserve Backup Dashboard を使用すると、過去および最新のジョブのバックアップ ジョブ ステータス、最も失敗の多いノード、バックアップ データの場所、データが暗号化されているかどうか、惨事復旧の準備ができているかどうか、各実稼動サーバのボリューム、ディスク容量、メモリ、CPU、NIC、SCSI、ファイバ カードなど、多くの情報を確認できます。

CA ARCserve Backup Dashboard では、電子メールでスケジュール レポートを送信することもできます。

CA ARCserve Backup Dashboard で情報を表示するには、CA ARCserve Backup エージェントを本リリースにアップグレードする必要があります。

CA ARCserve Backup Dashboard の詳細については、「CA ARCserve Backup for Windows Dashboard ユーザ ガイド」を参照してください。

データ デデュプリケーション

データ デデュプリケーションは、データに冗長性がないかを調べ、重複のないデータ「チャンク」のみをディスクに格納するテクノロジです。 CA ARCserve Backup では、デデュプリケーション テクノロジを使用してデータをディスクにバックアップできます。 CA ARCserve Backup は、最適化されたデデュプリケーション テクノロジを使用して、バックアップ時間を減らすほか、バックアップの格納に必要なディスク容量も減らします。 CA ARCserve Backup デデュプリケーション テクノロジは、データの内容によって、ディスク容量の要件を 10 倍から 50 倍程度低減することができます。 デデュプリケーション テクノロジにより、バックアップ イメージをディスク上に長期間保持することができます。

CA ARCserve Backup Dashboard の多数のレポートには、ある期間にわたって実行されたデデュプリケーションの量のほか、デデュプリケーションを使用した場合に節約される推定容量を示します。 デデュプリケーション効果推定レポートなどのレポートでは、保存期間を変更できるためディスク容量の節約を視覚化できます。

データ デデュプリケーションの詳細については、「管理者ガイド」を参照してください。

パスワード管理

ハードウェアまたはソフトウェアの暗号化を使用する場合は、パスワードを指定する必要があります。 CA ARCserve Backup の以前のリリースでは、リストア ジョブをサブミットする必要があったため、指定したパスワードを憶えておく必要がありました。

本リリースでは、CA ARCserve Backup が(デフォルトで)パスワードを記憶します。 したがって、リストア ジョブ中にパスワードを指定する必要はありません。 指定したパスワードはすべて暗号化されます(FIPS に準拠)。 FIPS に準拠したセキュリティの暗号化キーをエクスポートおよびインポートし、そのパスワードをリモートの惨事復旧サイトで格納したり使用したりすることもできます。

また、パスワードを定期的に変更する必要がある場合、パスワードの変更を求めるように CA ARCserve Backup を設定できます。

パスワード管理の詳細については、「管理者ガイド」を参照してください。

ユーザ プロファイル

ユーザ プロファイル管理では、異なるユーザが異なる権限で CA ARCserve Backup にアクセスできるようにすることができます。 ユーザ プロファイル マネージャを使用して、個々のユーザに対し、固有の権限を付与したロールを複数割り当てることができます。 たとえば、3 人のユーザに対して、1 人には Administrator ロールを、もう 1 人には Backup Operator ロールを、最後の 1 人には Restore Operator ロールを割り当てることができます。 ロールに基づいた権限を割り当てる機能により、権限のないユーザが CA ARCserve Backup ドメインにアクセスする可能性を減らすことができます。

本リリースでは、Windows ドメイン アカウントを使用して CA ARCserve Backup にアクセスできるようになったため、ユーザ パスワードを作成、管理、および記憶する必要性が少なくなりました。

ユーザ プロファイル管理の詳細については、「管理者ガイド」を参照してください。

CA ARCserve Backup Agent Deployment パッケージ

CA ARCserve Backup の本リリースには、CA ARCserve Backup Agent Deployment が含まれています。 CA ARCserve Backup Agent Deployment は、複数のリモート ホストに CA ARCserve Backup エージェントのコレクションを同時にインストールおよびアップグレードするためのウィザード形式のアプリケーションです。 Agent Deployment は、バックアップ環境で確実に CA ARCserve Backup エージェントの選択グループの最新バージョンを実行できるようにするために設計されました。

Agent Deployment には、Agent Deployment パッケージというインストールファイルが必要で、それは CA ARCserve Backup サーバにインストールできます。 Agent Deployment パッケージをインストールするには、CA ARCserve Backup のインストール時に Agent Deployment パッケージを明示的に選択する必要があります。 これにより、CA ARCserve Backup のインストール後、Agent Deployment の実行時に、CA ARCserve Backup インストール メディアを用意する必要がなくなります。

Agent Deployment の詳細については、「実装ガイド」または「管理者ガイド」を参照してください。

TapeAlert 3.0 のサポート

Tape Alert 3.0 のサポートにより、CA ARCserve Backup では、テープ ドライブおよびライブラリからアサートされる、TapeAlert 3.0 で定義済みの新しいフラグを検出およびレポートできます。 SNMP プロトコルを使用して、CA ARCserve Backup のテープ ドライブやライブラリをモニタすることができます。

TapeAlert ポーリングはデフォルトで無効になっています。 TapeAlert 関連のメッセージを受信する場合は、CA ARCserve Backup サーバ管理でこのオプションを有効にできます。

マイグレーション ジョブ ステータス

ジョブ ステータス マネージャが更新され、スケジュール済みや保留のマイグレーション ジョブが示されるようになりました。 [マイグレーション ジョブ ステータス]ウィンドウに表示されるセッション レコードには、バックアップされ、マイグレートされるようにスケジュールされたセッションについての情報が含まれます。 保留またはスケジュール済みのデータ マイグレーション ジョブごとに、コピー時間、パージ時間、およびターゲット グループ名は変更できます。

メディア検証

メディア検証により、メディア上のセッションがリストア可能かどうか確認できます。 メディア検証にはスキャン マネージャからアクセスします。 メディア検証ジョブは、指定した基準に基づいてランダムにセッションをスキャンします。

メディア検証ジョブには以下の基準を設定できます。

- 前回のセッション バックアップからの日数
- スキャンするセッションの数
- スキャンするノード

Oracle RMAN および 64 ビット プラットフォームのサポート

バックアップ/リストア ジョブ中に CA ARCserve Backup と Oracle データベースとの間で発生するすべての通信は、Agent for Oracle によって処理されます。これには、CA ARCserve Backup と Oracle データベースとの間で送受信されるデータの準備、取得、および処理が含まれます。

本リリースには以下の機能が含まれます。

- エージェントには以下の 2 つのバックアップ モードが用意されています。
    - ファイル レベル バックアップ
    - RMAN バックアップ
- エージェントは x86、x64、および IA64 プラットフォームをサポートしています。

    注： Agent for Oracle は Windows Server 2008 （x86 および x64）システムで Oracle 11g をサポートしていません。
- エージェントは JIS 2004 文字をサポートしています。
- エージェントは Oracle バックアップを実行するために SAP エージェントを有効にします。

エージェントの詳細については、「Agent for Oracle ユーザ ガイド」を参照してください。

Windows Server 2008 サーバ コアへのメンバ サーバのインストールのサポート

本リリースでは、Windows Server 2008 サーバ コアに CA ARCserve Backup メンバ サーバ コンポーネントをインストールできるようになりました。 Windows Server 2008 サーバ コアは Windows Server 2008 オペレーティング システムの最小限のサーバ インストール オプションです。

この機能を使用すると、Windows Server 2008 システムの惨事復旧など、Windows Server 2008 サーバ コア機能と Hyper-V テクノロジを使用したデータを保護が可能です。

バックアップ データを保護するには、以下の CA ARCserve Backup コンポーネントを使用します。

- CA ARCserve Backup メンバ サーバおよびサポートされるオプション
- CA ARCserve Backup Client Agent for Windows
- CA ARCserve Backup Agent for Open Files
- CA ARCserve Backup for Windows Disaster Recovery Option

第 2 章: 利便性の向上

この章では、既存の機能に加えられた変更内容について説明します。また、製品から削除された機能の一覧も含まれています。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

セットアップの機能拡張 (15 ページ)
レポートの改良 (16 ページ)
Media Maximization (16 ページ)
ステータス タイプ [ターゲットの待機中] (16 ページ)
拡張されたライセンス管理 (17 ページ)
セッション番号の増加 (17 ページ)
NAS セッションのテープ コピーのサポート (17 ページ)
64 システムでの NDMP NAS Option のサポート (17 ページ)
Windows-on-Windows での SAP エージェントのサポート (17 ページ)
サポートされない機能 (18 ページ)

セットアップの機能拡張

本リリースの CA ARCserve Backup には、機能拡張されたインストール ウィザードが含まれています。 インストール ダイアログ ボックスは、全体のサイズが大きく、プロセスの手順ごとに詳しい説明が用意されています。 また、いくつかのインストール タスクが 1 つのダイアログ ボックスに統合され、各ダイアログ ボックスにはインストールの進捗状況全体を把握できるステータス バーが含まれています。

さらに、インストール ウィザードは以下の点が変更されています。

- サードパーティ製の前提条件コンポーネントをインストールする権限を付与する必要があります。
- 一般的にインストールされる CA ARCserve Backup コンポーネントをインストールする、高速インストールを指定できるようになりました。
- Unicode、ダブルバイト文字を含むデータを保護するように SQL Server の照合順序を指定できるようになりました。

レポートの改良

レポート マネージャにより、以下の機能拡張された新しいレポートを実行できるようになりました。

監査ログ レポート

この新しいレポート カテゴリは、サービスの開始と停止、パスワードの変更などの監査ログ情報に基づいてレポートを生成するように設計されています。 これによって、だれがどのマシンからどのアプリケーションを使用してアクションを実行したかを特定できます。

メディア レポート

このレポート カテゴリは更新されました。 セッション詳細およびセッションの各レポートに、[デデュプリケーション セッション用圧縮率]というフィールドが追加されました。 この比率は、デデュプリケーション後に実際にディスクに書き込まれたデータ量を示します。 このフィールドは、デデュプリケーション デバイス グループにバックアップされたセッションについてのみ有効になります。

Dashboard レポート

CA ARCserve Backup Dashboard から多数のレポートが生成されます。 これらのレポートは、CA ARCserve Backup Dashboard からの印刷や電子メールでの送信、または、特定の日時に電子メールで送信するようにスケジュールすることが可能です。

Media Maximization

Media Maximization 機能は、GFS ジョブおよびローテーション ジョブでディスクおよびテープの使用率を最適化するのに役立つ処理です。 Media Maximization の機能拡張により、ディスク ステージングのローテーション ジョブとカスタム ディスク ステージング ジョブがサポートされるようになり、メディア プールを使用してバックアップ データを追加できるようになりました。

ステータス タイプ[ターゲットの待機中]

[ターゲットの待機中]ステータスは、ジョブを実行する準備が完了し、ターゲット デバイス、メディア、またはその両方が使用可能になるのを待機していることを示します。 ジョブがデバイスを待機している個々の理由については、デバイスの待機のハイパーリンクをクリックすると表示される[ターゲット グループ ステータス]ダイアログから確認できます。

拡張されたライセンス管理

CA ARCserve Backup［ライセンス管理］ダイアログの拡張により、お使いの環境にインストール済みの CA ARCserve Backup コンポーネントに対して発行されているライセンスの合計を表示できるようになりました。

セッション番号の増加

セッション番号の増加により、FSD（File System Device、ファイル システム デバイス）、ディスク ステージング デバイス、またはデデュプリケーション デバイスに保存できるセッション数が増えました。 1 つの FSD、ディスク ステージング デバイス、またはデデュプリケーション デバイスに最大 4 GB まで格納できるようになりました。

NAS セッションのテープ コピーのサポート

テープ コピー（tapecopy）ユーティリティを使用して、NAS セッションをテープ間でコピーすることができます。 この機能により、以下の点で NAS セッションの機能が強化されます。

- テープ スパンがある状況でもない状況でも NAS セッションのテープ コピーを実行できます（1 つ以上のテープを含む）。
- 照会モードから NAS セッションのテープ コピーを実行できます。
- グループ間ですべてのテープをコピーできる［-entire］ソース オプションを使用して、NAS セッションのテープ コピーを実行できます。

64 システムでの NDMP NAS Option のサポート

CA ARCserve Backup for Windows の NDMP NAS Option は x64 オペレーティング システムをサポートするようになりました。

Windows-on-Windows での SAP エージェントのサポート

Enterprise Option for SAP R/3 for Oracle は WOW（Windows-on-Windows）をサポートするようになりました。 WOW64 は、64 ビット システム上での 32 ビット アプリケーションの実行を可能にする Windows オペレーティング システムのサブシステムです。

サポートされない機能

以下のサポートは CA ARCserve Backup r12.5 から廃止されました。

- CA ARCserve Backup r11.5 Agent for Ingres
- CA ARCserve Backup for UNIX r11.1 Agent for Oracle
- CA ARCserve Backup for Linux r11.1 Agent for Oracle
- CA ARCserve Backup r12.1 サーバを管理するための後方互換性（CA ARCserve Backup r12.5 のユーザ インターフェースでは CA ARCserve Backup r12.1 サーバは管理されません）。
- Agent for Microsoft DPM（Data Protection Manager）
- Unicenter Integration Option
- カタログ データベースを有効/無効にする機能が削除されました。 カタログ データベースは常に有効になっています。
- FSD（File System Devices、ファイル システム デバイス）および VTL（Virtual Tape Libraries）をステージング バックアップ用に手動で設定する機能が削除されました。 CA ARCserve Backup で、最適なチャンク サイズ（512 バイト）を指定するようになりました。
- MMC（Microsoft 管理コンソール）との統合

索引

6

64 システムでの NDMP NAS Option のサポート - 17

C

CA ARCserve Backup Agent Deployment パッケージ - 12
CA ARCserve Backup Dashboard - 10
CA 製品リファレンス - iii
CA への連絡先 - v

M

Media Maximization - 16

N

NAS セッションのテープ コピーのサポート - 17

O

Oracle RMAN および 64 ビット プラットフォームのサポート - 14

T

TapeAlert 3.0 のサポート - 13

V

VMware および Hyper-V システムでの仮想マシン保護の拡張 - 10

W

Windows Server 2008 サーバ コアへのメンバ サーバのインストールのサポート - 14
Windows-on-Windows での SAP エージェントのサポート - 17

か

拡張されたライセンス管理 - 17

さ

サポートされない機能 - 18
ステータス タイプ[ターゲットの待機中] - 16
セッション番号の増加 - 17
セットアップの機能拡張 - 15

た

データ デデュプリケーション - 11

は

パスワード管理 - 11

ま

マイグレーション ジョブ ステータス - 13
メディア検証 - 13

や

ユーザ プロファイル - 12

ら

レポートの改良 - 16